

館の運営方針	歴史のまち佐倉の生活・文化の向上と、ふるさと佐倉のまちづくりに携わる市民の連帯意識を高めるため、だれもが学習しやすい公民館、集会活動のよりどころとなる公民館、親睦を深める場となる公民館として生涯学習のねらいを達成すべく、社会教育活動の中心施設としてその役割を果たすことに努める。
ジャンルの目標	子どもたちに、様々なテーマで学習機会を提供することにより、自然や芸術への触れ合いや体験する機会を作るとともに、それらを通して子どもたちの心と体の育成を目標とする。

☆個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	夏休み子どもゼミナール	宇宙について専門的な知識、経験をもつ宇宙アドバイザー協会の講師を招いて、宇宙飛行士、人工衛星についての講義や天体望遠鏡を使っての星空観察、ペットボトルロケットの作製をした。また、貸切バスでつくば市の筑波宇宙センターまで行き、宇宙に対する興味を深めた。
②	佐倉市・女子美術大学連携協働事業「JOSHIBAワークショップ～佐倉花めぐりキャンドル～」	女子美術大学教員・学生の指導により、四季折々に、佐倉で咲く花をイメージして、キャンドルをつくった。
③	子どもの居場所作り	公民館を利用しているサークルが小学生を対象に日頃の学習の成果を披露し、自主的な学習活動の楽しさを伝えた。
④	夏休み学習ルーム	夏休み期間中、学習室1を自主学習の場として提供した。
⑤	カブトムシを紙でつくろう!	カブトムシとキアゲハの模写標本を紙で作製し、虫の仕組みを学ぶことで、佐倉の自然環境に興味を持つきっかけとなった。
⑥	通学合宿	異年齢の子どもたちが親元を離れ、共同生活体験をすることにより、自主性・協調性などを高めた。また、地域の住人との交流も図り、明るい地域づくりの一助にする。
⑦	親子映画会	親子で映画を見ることで、楽しみながら映像文化に親しむ。

☆ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般		
企画	企画段階での課題と解決策	B A: 各個別事業の想定課題は正しかった。 B: 各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C: 個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i: 途中で変更した。 ii: そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	B A: 各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B: 各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C: 各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i: 別の方向に進めた。 ii: そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	青少年教育の事業は、子どもの関心の高い内容で実施されている。特に「夏休み子どもゼミナール」では、宇宙をテーマに5回の講座が開催され、幅広い知識の提供と興味を深める効果的な運営が行われている。実施期間が夏休みに集中しているため、夏休み以外の事業について検討していく必要がある。
改善	次年度への課題と展望策	A A: 事業拡大。 B: 現状規模での継続。 C: 事業縮小。 D: 目的達成により終了。 E: 統合・改善・その他 ()

総合評価	
B	<p>事業規模</p> <p>A: 適切で成果が得られている。 B: 課題あり、成果が得られている。 C: 課題あり、成果があまりない。 D: 成果が得られていない。 E: 現段階では判断できない。</p> <p>成果</p> <p>青少年教育で実施する各種事業は、適切に企画・立案等がなされた中で運営が行われ、参加受講(保護者も含む。)の満足度も高く、一定の成果を上げているものと考えている。今後も事業終了時にアンケートを実施し、評価結果を次年度の事業展開に活かせるよう、適切な事業運営に努めていきたい。</p> <p>課題</p> <p>「公民館＝高齢者の居場所」という印象と市民カレッジを主要事業としている当館にあって、若い世代(子育て世代を含む。)に公民館を周知するためにも有効な事業である。夏休みに集中する散発的な講座が多く、事業効果の向上のため継続的、系統的な講座を増やしていく必要がある。 中高生向けの事業が少ない。地域の一人としての企業の地域・社会貢献の導入も検討したい。</p>

ジャンル	青少年教育
事例発表の事業	佐倉小学校通学合宿

☆公民館運営審議委員意見

委員①	<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正に事業を実施していると考える。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育では日頃実現しない、小学生と大学・高校生との交流があり、教員志望の学生にとって職場体験の一環ともなっている。
総合評価	B

委員②	<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民カレッジの開催しない期間に、子ども達を対象にした事業は地域としても良いことと考えます。また、学校ではできない内容を取り入れていることも良いと思います。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活経験の少ない現代の児童に合宿をさせることは、未体験の行うため時間がかかります。大人からの指示が多くなれば出来映えは良いですが、失敗も含めて児童自らが考えて行動させるために、当日の日程は余裕のあるものにした方が良いと考えます。特に平日は学校があるため、実施内容は限られます。
総合評価	B

委員③		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学合宿は例年順番を決めて学校に割り当てているが、公民館の取り組みの一環で毎年中央公民館でやっているのか少しわからなかった。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉高校ESSを活用したのは良かった。
総合評価	B	

委員④		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし
総合評価	A	

委員⑤		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生対象の事業は参加の有無は保護者が決めると言っても過言ではないと思う。大人の興味をもそそるよい内容であったと思う。事業内容は多様であり選びやすいと思う。参加者も多く魅力あるものであったと思うが、参加率を考えて次年度同じ事業をする場合は今年度の参加者が再参加できるように同じ内容にならないように注意が必要。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学合宿は準備に莫大な時間をかけて実施されている事がよく解った。児童には思い出に残る合宿になったと思う。
総合評価	A	

委員⑥		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多彩な内容が繰り広げられ、青少年の健全育成のために活動されていることがわかったが、課題に書かれているように夏休み開催が多く、中高生対象が少ない。この年頃はほとんど学校を活動の舞台としているので、そこで行われていないダンスなどの活動を取り込んだり、(公民館だけではできないが)不登校児の宿泊合宿など取り組めないものだろうか。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで積み上げられてきている実績もあって計画、内容、進め方よくなされていると感じた。
総合評価	B	

委員⑦		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の校外活動の一拠点として、公民館の存在意義は高いと思う。現行の、利用団体との交流を目指した「子どもの居場所作り」は、理想の事業の一つと思える。実施に当たっては、事前打ち合わせ等において、利用団体と事業目的の共有を徹底し、事後の評価を必ず行い、課題を見つけ、次回に活かしてほしい。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで公民館側の報告に触れることはあったが、学校側の率直な評価も伺えればと思う。各学年の定員7名は致し方ないが、少数のリーダー育成が目的ではなく、全児童、全保護者を対象とした貴重な体験の機会であり、さらに申込み者が増えるような勧誘PRは出来ないものか？事業に協力する多くのボランティアスタッフの声も反映させながら、継続して欲しい。
総合評価	A	

委員⑧		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み子どもセミナー他6事業は幼児、小中学生を対象にした各種事業であり、佐倉市の将来を担う子ども達に公民館を利用したコミュニケーションづくり、学習、物づくり、楽しく遊ぶ場等に楽しい一時と高い講評を得て終了している。子ども達の生き立ちにおいても良い思い出になることと思います。今後も幅広い内容の教室を企画立案し夢有る子ども達の育成に期待します。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉小学校通学合宿の実施目標は、①協力し合う心を育む。②生活技能を取得する。③家庭の教育力の向上を目指す。④地域とのつながりを深めることにある。アンケートによる実施結果によると、また通学合宿があったら参加しますか？。に対し参加者21名中20名の者が参加したいと回答しているので事業は好評であったと評価します。事故なく終了したことは協力者のご尽力だと思います。反省点を踏まえた継続を望みます。
総合評価	A	

委員⑨		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館が6館ある中で地域性や重点事業により各館の特色があってよいと思うし、中央公民館は市民力レッジが重点事業です。そこで、当館の青少年教育は、市民力レッジ卒業生やNPOなどと連携により、学校教育では学べないような地域連帯を強めるような事業を考えていただきたいと思います。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の小学生が自宅を離れて寝食を共にし、加えて高校生から英語の特別授業を受けることは、小学生・保護者・高校生にとっても日常生活が非日常生活になる体験だったと思います。家庭を離れた通学合宿により、親子関係、友人関係、異年齢関係など、家族中心から地域社会の人々との関係を見直す良い機会になったことと思います。
総合評価	B	

委員⑩		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容が多岐にわたっており、参加した他校の子ども達との交流や、地域の大人との触れ合い時間を通して、人間関係の育成に寄与されている。ほとんどの子どもたちは、物づくりに興味を持っていると思われるので、さらなる事業内容の充実を考えて継続していただきたい。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親元を離れ集団生活を行う通学合宿は、異学年で編成された班ごとに、買い物・料理作り・掃除など、子ども達に興味深い生活体験の機会を与える場になっている。また、大学生や地域の方々の参画を得て、異世代交流や子どもも同志の触れ合いの場にもなっており、子ども達に生活体験を経験させる事業である。通学合宿事業は毎年続けていただきたい。
総合評価	A	

委員⑪		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み子供ゼミナール、「女子美大アート体験」は、専門の講師や大学教員、学生等の指導を受けながら学べる貴重な体験教育の機会です。事業の継続と活性化を進めて欲しいと思います。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉小学校4～6年生による通学合宿は集団生活を通しての生活体験を学べる良い企画です。 ・講師や学生ボランティア等多くの参加者になりますが安全管理に充分注意して継続実施して欲しい事業です。
総合評価	B	

委員⑫		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレッジの休みの時「夏休み子どもゼミナール」「夏休み学習ルーム」「通学合宿」等有効に使っている現状はOK。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐倉小学校通学合宿・・・お互いの立場や役割を理解し協力し合う心をはぐくむこと、日常生活に必要な生活技能を習得。発表ではすべてOKだと思いました。
総合評価	B	

委員⑬		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①～⑦まで(「事業」という名称に戸惑う)は大いに継続してほしい。 ・要望:藤井聡太君以来将棋ブームであるが、「親子で楽しむ将棋教室」など新しく設けたいかがでしょうか。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑥の通学合宿は小学校の年長組にとって良い体験になる。親子関係、生徒間のふれあい助け合い、料理の大変さ、母親への感謝等、人は助け合いって生きていくことを学べる大きなチャンスと思う。
総合評価	A	

委員⑭		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業は1年間を通しての活動である。高齢者に偏りがみられるのはやむをえないと思うが、年間を通しての子供達の活動を増やす工夫が必要と思われる。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の事業活動を年間通したものを増やしていただきたい。
総合評価	B	

委員⑮		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青少年教育はその効果がすぐ出るものばかりではないけれど、将来の佐倉市民への教育としては、とても有意義なものであると思います。 △日常生活に必要な生活技能を身に付ける目標に対して、通学合宿のほかにはどのようなプランがあったのか、いくつかの中から選んだものでしょうか。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学生が家庭を離れて合宿する貴重な機会を経て、学ぶことはとても大きな成果があると思います。地域の人材が協力して子どもたちと関わることも、大人と子ども双方に得るものがあります。 △合宿を終えた後の保護者の感想から、家庭での子どもと家族の関わり方がどう変わったかがもっと見えると良かった。 △参加人数は、マックス何人ですか？
総合評価	B	